

1 子育て家庭が安心して相談できる環境づくりを目指して

継続した寄り添い型支援「通称：i^{あい}ぽーと」(磐田版ネウボラ)をスタート

すべての子育て家庭が安心して相談できる環境づくりを目指し、地区担当保健師が母子健康手帳交付時からの継続した寄り添い型支援（通称：i^{あい}ぽーと）をスタートします。母子健康手帳交付時に地区担当保健師が利用者と顔の見える関係づくりを行い、更に地区担当保健師が子育て支援施設や関係機関と連携し重層的な支援をします。

1 「i^{あい}ぽーと」の特徴(実施内容等)

- ① 1人1保健師体制
子育て家庭ごとに一人の保健師が、妊娠期から継続した相談に対応します。母子健康手帳交付時に担当保健師を紹介
- ② 「はじめのいっぽ」
保健師と市内すべての子育て支援センターが連携し、初めて子育て支援センターを利用する親子を対象とした講座「はじめのいっぽ」を開始
- ③ 官民連携の取り組み
赤ちゃん本舗ららぽーと磐田店と物品提供の協力協定を締結。「はじめのいっぽ」講座にて参加者へ物品提供。（おしりふき等を配付）
- ④ 重層的支援体制
保健師が関係機関と連絡・調整・情報共有を行い、重層的で切れ目のない継続した支援体制を構築

2 今後のスケジュール

- 7月 4日(月) 全子育て支援センターで「はじめのいっぽ」開始
- 7月 12日(火) 赤ちゃん本舗と物品提供の協力協定の締結

※「ネウボラ」の意味

「ネウボラ」とは、フィンランド発の妊娠期から就学前の子どもがいる家庭への子育て支援制度です。一家族ごとに1人の保健師が継続して担当し、妊娠から出産・子育てに関するあらゆる相談に対応しています。

※「i^{あい}ぽーと」の由来

「i^{あい}ぽーと」の「i」は、磐田市総合健康福祉会館iプラザの「i」と愛情の「愛」、iプラザ内にある愛情豊かなport（港）を意味します。港のように多くの方に立ち寄りいただき、子育てのさまざまな悩みや不安を相談していただきたいと考えています。保護者が肩の荷を下ろしてもらい、安心して持ちで子育てをしてもらいたいという願いを込め命名しました。